

標準仕様書

Nsシリーズ

品 名 管理用システムソフト

型 式 Ns-s800Lite

目次

1.	概要	1
2.	接続可能装置	1
3.	機能	1
3-1.	ゲート登録	1
3-2.	個人登録	1
3-3.	履歴	2
3-4.	パスワード制限	2
4.	動作環境	2
4-1.	パソコンスペック	2
5.	系統図	3
6.	改訂履歴	4

1. 概要

本ソフトはパソコンを使用して、Nsシリーズにて構成されるシステムのデータ管理を簡易的に行うものです。

2. 接続可能装置

以下の装置を合計して最大10台まで接続し、一元管理することができます。

- | | |
|-------------------|---------|
| (1) LED表示型カード式照合機 | Ns-C810 |
| (2) 液晶表示型カード照合機 | Ns-C830 |
| (3) キー式照合機 | Ns-T830 |

3. 機能

3-1. ゲート登録

- (1) 照合機が管理するゲートに番号と名称を設定できます。履歴を確認するときに設定した名称にて表示することができます。
- (2) csvファイルとしてダウンロード・アップロードすることができます。

3-2. 個人登録

- (1) 個人を最大3万件まで登録することができます。
- (2) 個人IDを最大20桁まで設定することができます。
- (3) 氏名を30文字まで登録して管理することができます※。
- (4) 氏名(カナ)60文字まで登録して管理することができます※。
- (5) 利用開始日、終了日を2010年1月1日～2099年12月31日まで登録することができます
- (6) 発行回数を1桁(0～9、A～Z)で登録することができます。
- (7) 暗証番号を4桁(0～9、A～Z)で登録することができます。
- (8) Ns設定権限を設定することができます。
- (9) 認証方式を設定することができます。
- (10) 各ゲートを通行可・通行不可の2つから選択することができます。
- (11) csvファイルとしてエクスポート・インポートすることができます。

※半角数字のみのときは16桁までとなります

3-3. 履歴

(1) 履歴

- 1) 最新の履歴を10万件まで保存することができます。
10万件を超えた時点で通信処理を停止します。履歴を削除することで再度収集処理を再開します。
- 2) 項目は「日時・ステータス・ゲート番号・ゲート名称・個人ID・氏名・氏名(カナ)・履歴内容・履歴画像」です。

(2) データモニター

- 1) 最新の履歴を500件まで(1ページ50件)確認することができます。
- 2) 履歴を「全履歴・エラー履歴、ゲート指定、履歴指定」から絞って表示することができます。

(3) 報告書

- 1) 期間を指定して出力することができます。
- 2) ゲート、個人、履歴を選択して抽出することができます。
- 3) 1回の報告書作成で履歴を1万件まで抽出することができます。
- 4) xlsファイル(Excel)として報告書を出力することができます。

3-4. パスワード制限

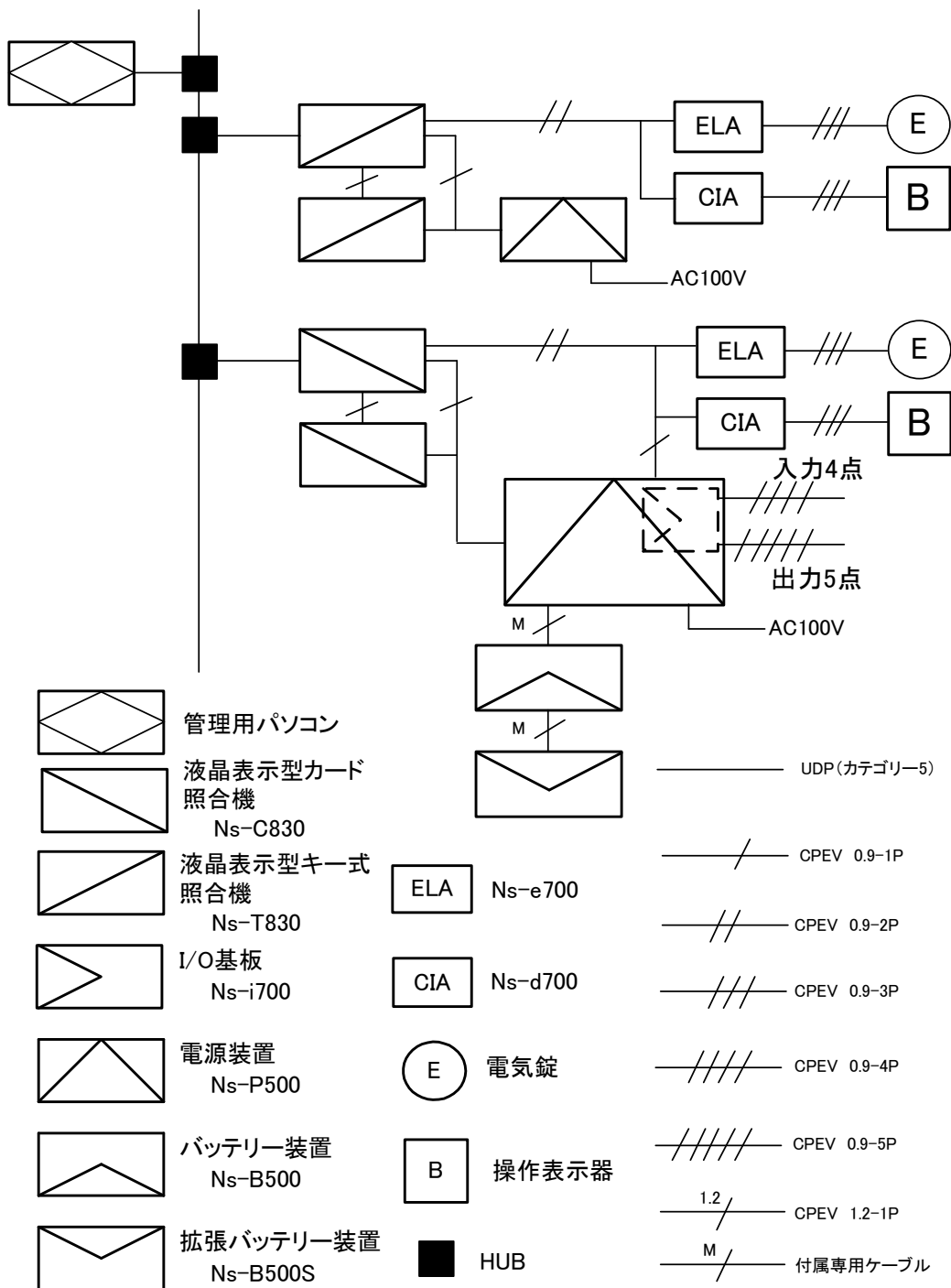
- (1) ログインIDとパスワードによりソフトの起動制限を行うことができます。
- (2) ログインID、パスワード共に半角英数字20桁までで設定することができます。

4. 動作環境

4-1. パソコンスペック

- (1) 対応OS : Windows XP SP3(32bit) / Windows7 SP1(32bit)
- (2) CPU : Core 2 Duo 2GHz以上
- (3) メモリ : 2GB以上
- (4) HDD空き容量 : 10GB
- (5) LANポート
- (6) ディスプレイサイズ : 1280×1024(SXGA)以上
- (7) データベース : SQLite

5. 系統図



6. 改訂履歴

図版	改定内容
S05803-01-11Y04	初版

- ・ARTロゴは、株式会社アートの登録商標である。
- ・Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標また商標である。
- ・Intelはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標である。
- ・その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標である。